

4. サブサハラ・アフリカ地域

アフリカ、特に、サハラ砂漠より南に位置するサブサハラと呼ばれる地域は、依然として深刻な貧困問題に直面しています。サブサハラ・アフリカ諸国の大半(48か国中33か国)は後発開発途上国(LDCs)であり、人口の約半分が貧困の境界線である「1日約1.25ドル」以下の生活を送っています。また、この地域には、内戦や紛争、難民、干ばつによる飢餓、HIV/エイズをはじめとする感染症のまん延など、発展を阻害する深刻な問題を抱える国も多く、国際社会からの多大な援助を必要としています。国連安全保障理事会(安保理)やG8サミットなどにおける議論でも、アフリカのこうした問題は国際社会の重大な関心事となっています。

一方、アフリカは豊富な天然資源に恵まれているほか、近年は目覚ましい経済成長をとげており、「希望と機会の大陸」として国際社会の関心を集めています。

< 日本の取組 >

日本は、アフリカの自助努力(オーナーシップ)と国際社会による協力(パートナーシップ)を基本原則とするアフリカ開発会議(TICAD^{ティカッド})の開催を通じて、アフリカ自身による開発課題への取組に積極的に協力してきました。1993年に開始したTICADの15周年に当たる2008年5月には、横浜において第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)を開催し、2011年5月には、セネガルの首都ダカールにおいて第3回TICAD IV閣僚級フォローアップ会合を開催しました。同会合では、日本が震災後も国際社会の平和と安定のために積極的役割を果たしていく考えに変わりなく、TICAD IVの公約を引き続き誠実に実現していくとの決意を表明したことに對し、参加国・機関から高い評価を得ました。また、2011年9月の国連総会の一般討論演説において野田総理大臣が表明したとおり、2013年に日本で第5回アフリカ開発会議(TICAD V)を開催する予定です。

また、日本はアフリカ地域における平和と安定の実現に向けた取組にも貢献しています。たとえば、スーダンへの支援は、TICAD IVの重点分野の一つに掲げ



セネガルで行われた第3回TICAD閣僚級フォローアップ会合で発言する松本剛明外務大臣

られており、同時に日本が対アフリカ政策の重要な柱として強調する「平和の定着」に向けた支援の一例となっています。2008年にオスロ(ノルウェー)で開かれた第3回スーダン・コンソーシアム会合では、①南北スーダンのバランス、②対南部スーダン支援における人道支援から復興・開発支援への移行、③地域格差の是正を念頭に置きつつ、これまでの支援に加え、当面約2億ドルの支援を表明し、2010年8月までに約2億2,000万ドルの支援を実施しました。特に、2011年1月に実施された南部スーダンの独立を問う住民投票は、南北包括和平合意(CPA)履行プロセスの集大成であることを勧告し、日本は住民投票に対する約800万ドルの緊急無償資金協力を実施するなど、同国の平和の定着を支援しています。また、国際機関や日本のNGOと積極的に連携しながら、難民の帰還・再統合の支援、地雷・不発弾の除去活動やそれらを回避するための教育、小児感染症への対策など医療支援、食糧支援などを行っています。(スーダンについては101ページ参照)

アフリカ開発会議 (TICAD) Tokyo International Conference on African Development

アフリカ開発をテーマとする日本主導の国際的な政策フォーラム。1993年の第1回会議以降、5年に1度、首脳級会議を日本で開催。国連、国連開発計画 (UNDP)、世界銀行およびアフリカ連合委員会*が共催者。

主な特徴

- アフリカ諸国による「オーナーシップ (自助努力)」の重要性と国際社会との「パートナーシップ」の必要性を提唱
- アフリカ諸国のみならず、ドナー諸国、国際機関、NGO等が幅広く参加する「国際フォーラム」
- フォローアップ・メカニズム (モニター機能) を通じた説明責任向上の取組

TICAD I (1993年)

冷戦終結後に国際社会のアフリカへの関心が低下する中、アフリカへの関心を喚起すべく「東京宣言」を採択

TICAD II (1998年)

「アフリカの貧困削減と世界経済への統合」がテーマ。社会開発 (教育、保健、貧困支援)、経済開発 (民間セクター・農業開発) および開発の基盤を支援するための「東京行動計画」を採択

TICAD III (2003年)

「TICAD10周年宣言」を採択。平和の定着、人間中心の開発 (教育、水、保健医療)、経済成長を通じた支援削減 (農村開発、インフラ、貿易・投資促進) というアフリカ開発の3本柱を提示

TICAD IV (2008年)

経済成長の加速化、MDGs達成、平和の定着、環境・気候変動問題への対処等に関する具体的取組を示した「横浜行動計画」を採択、2012年までの対アフリカODA倍増等の支援策を表明

TICAD V (2013年)

2011年9月の国連総会において、TICAD V を2013年に日本で開催することを野田総理大臣が表明

* アフリカ連合 (AU) : 2002年「アフリカ統一機構 (1963年設立)」から発展、改組されたアフリカ54か国・地域が加盟する世界最大の地域機関。アフリカの一層高度な政治的・経済的統合の実現と、紛争の予防・解決に向けた取組強化を目的とする。近年は開発分野でも役割を増している。本部はエチオピア首都のアディスアベバ。AU事務局をAU委員会と呼ぶ。

日本のコミットメントと実績

2012年までに対アフリカODAを9億ドル (2003年～2007年の平均値) から18億ドルへ倍増

2010年支援実績額 (暫定値) : 20.5億ドル

インフラおよび農業分野で最大40億ドル (4,200億円) の円借款による支援の実施

2008年度～2010年度支援実績額 : 2,397億円

2012年までに対アフリカ民間直接投資を17億ドル (2002年～2006年の年末時点の年平均残高) から34億ドルへ倍増

2009年までの5年間平均 : 42億ドル

分野別での支援政策および目標額の達成状況

● インフラ整備

745億円 (2008年度～2010年度) の無償資金協力・技術協力を実施

● 農業

38,399人 (2008年度～2009年度) の農業関係者の能力構築

● 水・衛生

360万人 (2008年度～2010年度) に対し、安全な飲料水を提供、水資源の管理者およびユーザー12,046人 (2008年度～2009年度) の人材育成を実施

● 教育

3,165教室、662校 (2008年度～2010年度) の小・中学校を建設、202,519人 (2008年度～2009年度+2010年度前半の推計値) の教員を対象として初中等理科教員養成 (SMASE) プロジェクトを拡大

● 保健

2,436箇所 (2008年度～2009年度) の病院および保健センターの改善、172,167人 (2008年度～2009年度) の保健・医療従事者の研修を実施



セネガルで子どもたちにラジオ体操を指導する青年海外協力隊員 (写真提供: 廣部えりな)



水を運ぶニジェールの女性 (写真提供: 玉井誠子)

タンザニア

「アルーシャ・ナマンガ・アティ川間道路改良計画」
有償資金協力(2007年3月～実施中)

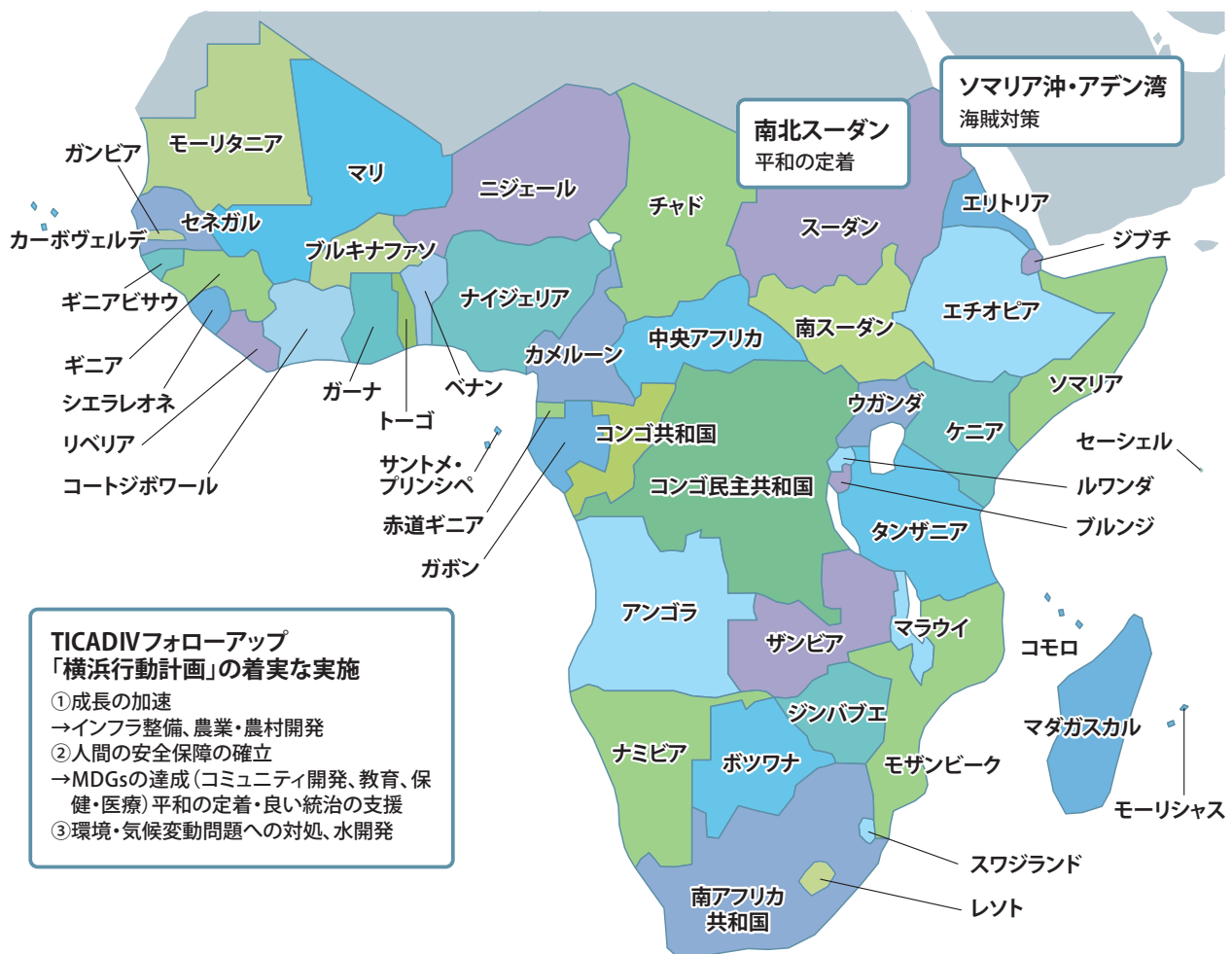
アフリカにおける陸上交通の大半は道路に依存しており、特に国際幹線道路の整備は隣接国も含んだ経済活動、物流の活性化に欠かすことができません。タンザニアの北部アルーシャとケニアのアティ川を結ぶ道路は、両国の首都を結ぶ国際幹線道路の主要部分ですが、洪水などの自然災害や不十分な維持管理により道路状況が悪化しています。また一方では、両国を含む東アフリカ共同体による関税同盟の発足などにより、両国間の交易は増加することが予想されます。そこで日本は、タンザニア政府からの要請に応じて総額68億円の有償資金協力を供与し、アフリカ開発銀行との協調融資により、アルーシャからケニアとの国境であるナマンガまでの道路整備と国境手続きの円滑化のためワン・ストップ・ボーダー・ポスト*の建設を進めています(ケニア側の整備はアフリカ開発銀行が単独で融資)。これにより、道路沿線の生活環境の改善や地域経済の活性化のみならず、タンザニアとケニア間の交易のさらなる活性化が期待されています。



アルーシャ・ママンガ間の道路建設の作業の様子
(写真提供:東アフリカ共同体)

*ワンストップ・ボーダー・ポスト: 陸路における国境通過手続を1回で効率的に実施するためのもの

サブサハラ・アフリカ地域における日本の国際協力の方針



図表 III-11 サブサハラ・アフリカ地域における日本の援助実績

2010年

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

順位	国または地域名	贈 与			計	政府貸付等		計	合計
		無償資金協力	うち国際機関を通じた贈与	技術協力		貸付実行額	回収額		
1	リベリア	10.85	10.64	4.42	15.28	119.03	—	119.03	134.31
2	スーダン	92.92	70.46	26.16	119.08	—	—	—	119.08
3	タンザニア	65.87	2.00	28.23	94.10	10.50	—	10.50	104.60
4	エチオピア	65.88	18.58	28.01	93.89	—	—	—	93.89
5	コートジボワール	33.94	5.79	1.54	35.48	49.56	3.78	45.79	81.26
6	コンゴ民主共和国	66.19	30.81	14.24	80.43	—	0.43	-0.43	80.00
7	ウガンダ	42.06	10.59	22.74	64.80	6.44	—	6.44	71.24
8	ガーナ	47.36	0.96	22.65	70.00	—	—	—	70.00
9	マラウイ	49.59	—	19.86	69.46	—	—	—	69.46
10	モザンビーク	48.95	3.85	13.52	62.48	0.38	—	0.38	62.85
11	セネガル	30.82	—	21.58	52.41	2.80	—	2.80	55.21
12	ザンビア	20.90	—	23.80	44.69	1.44	—	1.44	46.14
13	カメルーン	31.45	6.04	4.52	35.97	6.06	—	6.06	42.03
14	ブルキナファソ	25.47	2.35	16.11	41.59	—	—	—	41.59
15	ナミビア	0.17	—	4.03	4.20	36.39	—	36.39	40.59
16	ブルンジ	34.22	7.58	4.84	39.06	—	—	—	39.06
17	マリ	34.58	0.59	3.71	38.29	—	—	—	38.29
18	ジブチ	34.42	3.35	3.56	37.98	—	—	—	37.98
19	アンゴラ	34.30	1.61	3.32	37.62	—	—	—	37.62
		(25.46)	(1.61)	(3.32)	(28.78)	—	—	—	(28.78)
20	ケニア	68.85	29.41	36.16	105.01	11.53	79.81	-68.29	36.72
21	ベナン	22.43	—	6.70	29.13	—	—	—	29.13
22	ソマリア	29.05	29.05	0.02	29.07	—	—	—	29.07
23	ニジェール	15.73	1.76	9.43	25.16	—	—	—	25.16
24	ガボン	21.92	—	4.80	26.71	—	1.95	-1.95	24.77
25	ナイジェリア	16.94	—	6.93	23.87	—	—	—	23.87
26	ルワンダ	11.01	3.17	11.81	22.82	—	—	—	22.82
27	ジンバブエ	17.13	16.29	1.79	18.92	—	—	—	18.92
28	カーボヴェルデ	7.35	—	3.32	10.67	6.73	—	6.73	17.40
29	ガンビア	16.25	—	0.97	17.22	—	—	—	17.22
30	ギニアビサウ	15.87	12.71	0.24	16.11	—	—	—	16.11
31	モーリタニア	12.53	—	2.03	14.56	—	—	—	14.56
32	チャド	13.54	13.54	0.22	13.76	—	—	—	13.76
33	シエラレオネ	6.04	—	6.18	12.21	—	—	—	12.21
34	ギニア	9.96	7.01	0.84	10.80	—	—	—	10.80
35	ボツワナ	12.87	—	2.98	15.85	—	5.14	-5.14	10.71
36	エリトリア	8.25	3.25	1.61	9.86	—	—	—	9.86
37	マダガスカル	—	—	9.62	9.62	—	—	—	9.62
38	セーシェル	8.94	—	0.63	9.57	—	—	—	9.57
		(3.79)	—	(0.63)	(4.42)	—	—	—	(4.42)
39	レソト	8.14	2.16	0.70	8.84	—	—	—	8.84
40	中央アフリカ	14.15	6.08	0.06	14.21	—	6.12	-6.12	8.09
		(8.01)	(6.08)	(0.06)	(8.07)	—	—	—	(8.07)
41	トーゴ	6.65	—	1.01	7.66	0.58	0.69	-0.12	7.54
		(5.89)	—	(1.01)	(6.90)	(0.58)	—	(0.58)	(7.48)
42	南アフリカ共和国	2.05	—	6.13	8.18	—	1.07	-1.07	7.11
43	コンゴ共和国	5.46	5.46	0.52	5.98	—	—	—	5.98
44	スワジランド	2.81	—	1.55	4.36	—	—	—	4.36
45	サントメ・プリンシペ	2.85	—	0.75	3.60	—	—	—	3.60
46	コモロ	0.41	—	0.29	0.70	—	—	—	0.70
47	赤道ギニア	—	—	0.32	0.32	—	—	—	0.32
48	モーリシャス	0.30	—	0.40	0.70	—	3.55	-3.55	-2.85
	サブサハラ・アフリカの複数国向け	24.49	24.49	23.17	47.66	23.93	—	23.93	71.59
サブサハラ・アフリカ地域合計		1,151.90	329.57	408.02	1,559.92	275.37	102.55	172.83	1,732.75
		(1,131.01)	(329.57)	(408.02)	(1,539.04)	(275.37)	(95.73)	(179.64)	(1,718.68)

*1 地域区分は外務省分類

*3 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある

*5 ()内の値は債務救済を含まない金額

*2 合計は卒業国向け援助を含む

*4 複数国向け援助とは、調査団の派遣やセミナー等、複数の国にまたがる援助